

2 - 4 福島県東部におけるラドン観測

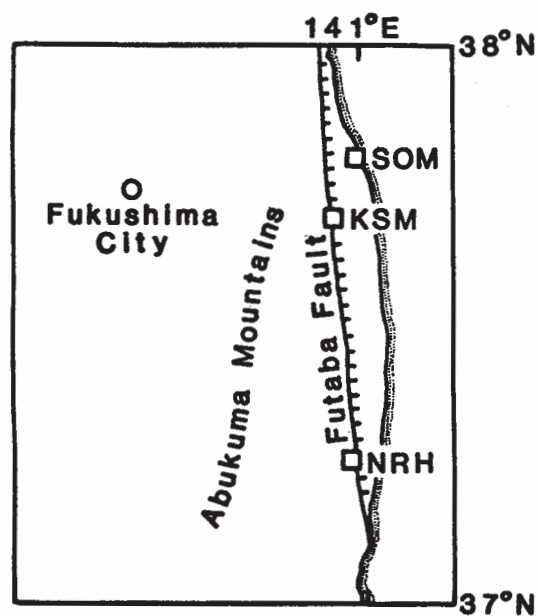
Radon Observations in the Eastern Part of Fukushima Prefecture

東京大学理学部

脇田 宏, 中村裕二

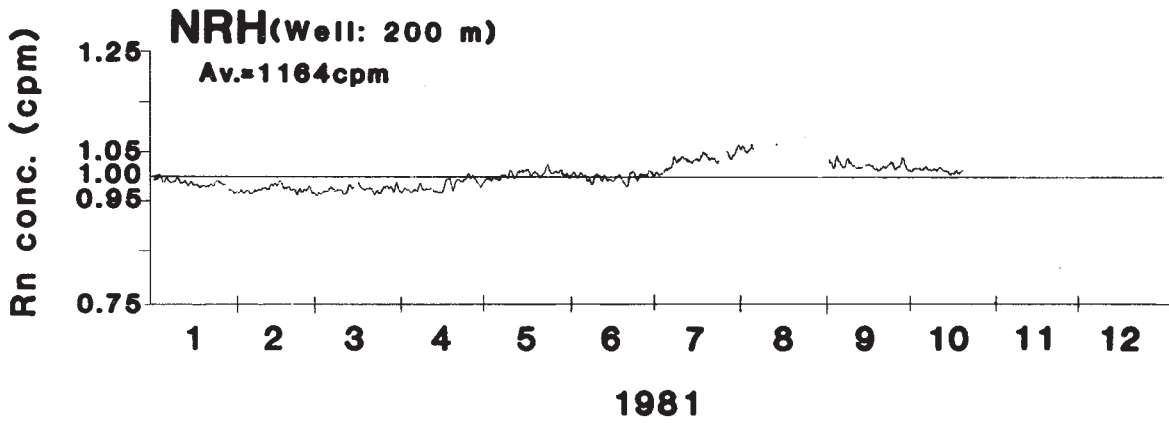
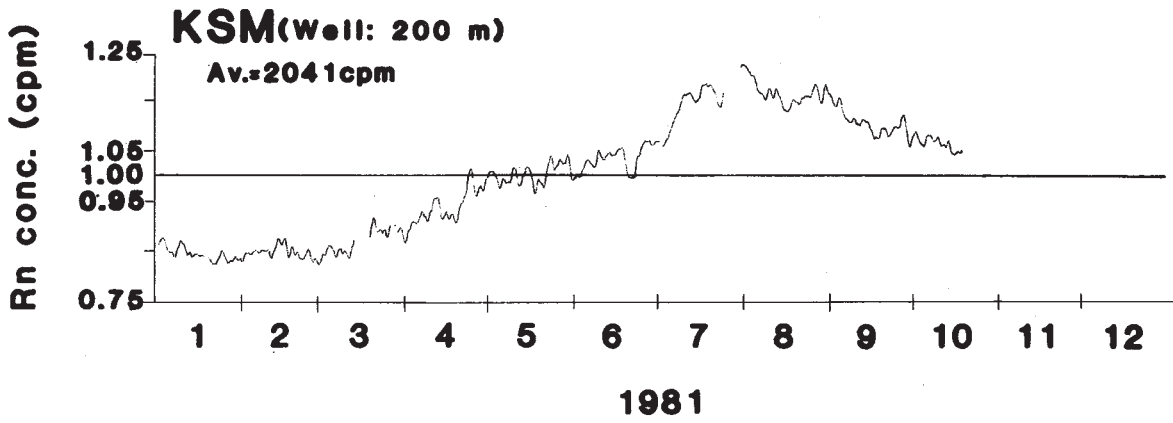
Hiroshi Wakita, Yuji Nakamura
Faculty of Science, University of Tokyo

福島県東部, 鹿島 (KSM), 檜葉 (NRH) における地下水中のラドン濃度の連続観測結果について報告する。観測地点の位置は第1図に示す。第2図は, 1981年1月から10月までの記録について, 2時間毎に読みとった値の12点移動平均を示す。観測地点相互の比較を容易にするため, 縦軸の表示は, 平均値に対する偏差で示した。鹿島の記録が大きな変動を示すのに対して, 檜葉の変動率は極めて小さい。現在のところ, これは両観測孔の自噴量の相異によるものと考えられる。



第1図 福島県東部の地球化学観測孔の位置

Fig. 1 Location of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima Prefecture (SOM: soma, KSM: Kashima and NRH: Naraha).



第2図 福島県東部，鹿島，檜葉における地下水中のラドン濃度の変化
(1981年1月～10月)。

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at KSM (Kashima) and NRH (Naraha) in the eastern part of Fukushima Prefecture (January-October, 1981).